

令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	19	学校名	生駒高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) 交通安全マスコット作製と配布 (2) 幼稚園・保育園訪問
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	(1) 2年生(359名)履修の「家庭基礎」の実習として実施。地域の交通安全環境の維持・改善、地域の交通マナーと生徒の規範意識を高めることを目標とした。 (2) 3年生選択科目「保育実践」(11名)における実習授業として実施。生徒個々の将来の目標実現を目標とした。
連携・協働相手	(1) 生駒警察署 (2) いちぶちどり保育園、老分幼稚園
地域と共有している目標・課題等	(1) 交通安全意識高揚。地域の交通安全環境維持、改善及び地域の交通マナー、生徒の規範意識の向上 (2) 幼児教育の意義・目標の理解、幼児の遊びと表現活動の実践的理解および幼児・生徒・保育実践者の世代間交流
取組・活動の内容(生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など)	
<p>(1) 夏期休業中に2年生が「家庭基礎」の課題として、交通安全マスコットを作製し、生駒警察署との協働のもと、近鉄生駒駅前広場において、家庭クラブ委員と生徒会役員及び有志生徒一人一人が、通行する方々に交通マナーの向上と、交通安全への注意喚起を呼びかけながら、作製したマスコットを配布した。</p> <p>(2) 地域の保育園と幼稚園で、3年生選択科目「保育実践」選択者11名が、のべ4回、役割を分担しながら、遊びの補助や絵本の読み聞かせ等の保育業務を実際に経験し、園児との交流を図り、幼稚園教諭や保育士の仕事に直接触れた。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>(1) 地域住民に自ら作製したグッズを手渡ししながら、直接声かけを行い、たとえ短時間でも言葉のやりとりを行うことで、生徒は、地域の方からの期待を肌で感じ、地域の中で果たすべき役割を感じることができた。</p> <p>(2) 地域で実際に働く人々と共に、実際の職場で、実際の業務を直に経験し、専門的なアドバイスを得ることで、生徒は自らの目指す職業にとって必要な技術・知識や心構えを再度深く認識することができた。</p> <p>活動内容を企画する段階から生徒の意見を取り入れて反映させるなど、生徒がより一層「主体性」を発揮できる活動を模索・検討していきたい。</p>
--

